

整備事業評価書

(都道府県名: 栃木県)

政策目的	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アイ	成果目標の平均達成率	都道府県による点検評価(所見)	国による点検評価
産地競争力の強化	12	0	12	231.6	<p>全般的におおむね計画通りに目標が達成された。計画目標に達しなかった事業についても、契約取引数量の拡大や品質の向上が図られ、事業の効果が十分あったものと認められる。畜産関連事業については、飼料高騰等の影響もあり、目標が達成できなかった事業実施主体については、関係機関と連携し、目標達成に向け重点的に指導することとする。また、その他の事業実施主体についても、生産性向上を目的とし、安定した畜産経営の推進に取り組むこととする。</p>	<p>成果目標の平均達成率は231.6%で目標を達成。事業主体別の成果目標を達成できなかった地区については県による改善指導が必要</p>
経営力の強化	4	0	4	72.8	/	<p>4地区のうち3地区で成果目標を達成できなかった。関係機関連携のうえ、改善のための取組が必要</p>
食品流通の合理化	/	/	/	/	/	/

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
							計画時 (平成17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
一	栃木県	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	大麦種子	需要に応じた生産量の確保・優良種子の確保	【土地利用型作物】 主要農作物種子(大麦)の生産量を5%以上増加	大麦種子(ヒール麦原種)生産量 4,100kg	4,100kg	3,125kg	11,600kg	4,600kg	1500%	H20のヒール麦原種生産量(佐野農場)が8,475kg増加した	種子生産用コンバイン1台	1,874,985	624,000	1,250,985	0	0	H19.2.27	-	生産性に優れる二条大麦「サチホゴールデン」について計画的な種子の確保とともに、既存品種からの転換により、生産拡大が図られており、計画以上に目標が達成されたものと認められる。
													乾燥調製施設一式(循環型乾燥機)	932,400	466,000	466,400	0	0				
大田原市	那須野農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稻)	品質向上	【土地利用型作物(水稻)】 品質分析の実施生産者の割合が50%以上	79.8%	79.8%	100.0%	100.0%	90.0%	198.0%	品質分析の実施生産者の割合が計画時より20.2%増加した。	温湯消毒プラント一式	119,892,150	57,091,000	0	0	62,801,150	H19.3.27	種子消毒を温湯消毒にしたことにより、種子段階から農薬成分を減らし、安全安心な米作りを推進し、減減栽培に取り組む生産者が増えた。	当該事業実施主体は、計画通りに目標が達成したものと認められる。
那須烏山市	那須南農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹(なし)	生産性向上	梨防霜ファン施設の導入による農作物被害の防止	被害が軽減される割合 0%	0%	100%	100%	100%	100%	平成20年度の凍霜害率が0%となった	防霜ファン設置83台	23,590,875	11,233,000	0	0	12,357,875	H19.3.20	防霜ファン導入前は、毎年のように被害が発生していたが、防霜ファンが100%稼働となったため、平成20年度の凍霜害は0%となった。	当該事業実施主体は、計画通りに目標が達成したものと認められる。

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
							計画時 (平成17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
二宮町	はが野農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	いちご	需要に応じた生産量の確保	いちご契約取引数量の拡大	2% (1.5t)	0% (0t)	28.3% (33.5t)	47.5% (49.9t)	31.6% (40.0t)	153.7%	契約取引の数量が計画時より45.5% (48.4t)増加した	イチゴ低コスト耐侯性ハウス基礎改良型 9,007㎡	161,844,375	77,068,000	0	4,624,000	80,152,375	H19. 3. 20	当地区における事業実施前の流通形態は市場流通が主であったが、高設養液栽培施設の導入により単収が増加(約5.0t/10a)したことに加え、品質の向上が図られた結果、契約取引シェアが増加に転じている。	当該事業実施主体は、計画以上に目標が達成されたものと認められる。
足利市	足利市農業協同組合	産地競争力の強化	輸入急増農産物における産地構造改革の推進	野菜(トマト)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	契約取引の拡大	1.2%	20.4%	23.3%	26.6%	31.0%	85.2%	契約取引数量が計画時より25.4% (61t)増加した	多機能多選別集出荷施設(日量9,000c/s)予冷設備	202,020,000	96,200,000	0	20,000,000	85,820,000	H19. 1. 15	多機能多選別集出荷施設導入により、様々な規格への対応が可能となった。また、選果でもオセ傷等の問題がなくなり、ロスが減少した。処理能力も日量9,000csを実現し、契約取引でも計画時1.2%から26.6%と伸びた。	当該事業実施主体は、計画目標には達成しなかったものの、契約取引数量も年々向上しており、目標も概ね達成しつつあることは評価できる。
矢板市	矢板市WCS利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(飼料用稲)	生産性向上	【耕種作物活用型飼料増産】 飼料栽培・収穫面積の拡大	12.5ha	6.0ha	17.0ha	18.7ha	15ha	248.0%	飼料作付面積が49.6% (6.2ha)増加した	稲発酵粗飼料用ローラー 1台 ラッピングマシン 1台 運搬機 1台	10,893,750	5,047,000	0	1,632,000	4,214,750	H18. 11. 29	専用収穫機による飼料用稲の収穫が可能となり、稲わらの代替飼料が確保できるようになった。栽培面積は目標を上回るものとなった。休耕地の解消、地域の環境保全にも貢献している。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる。

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	
							計画時 (平成17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
那須塩原市	箕輪飼料生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(イタリアンライグラス、デントコーン)	生産性向上	【飼料増産】飼料作付面積を1%以上増加	78.5ha	36.2ha	81.1ha	78.0ha	89.9ha	-4.4%	飼料作付面積が0.6%(0.5ha)減少した。イタリアンライグラスの作付面積は14.8%(6ha)増加した。デントコーンの作付面積は17.1%(6.5ha)減少した。	テッターレーキ 1台 ロールペーラ 1台 ラップマシン 1台 牧草播種機 1台 堆肥散布機 1台	11,035,500	3,931,000	0	0	7,104,500	H18.10.20	機械の導入により、作業が効率よく行えるようになり、イタリアンの作付面積は目標値を超えるものであったことは評価できる。ただ、栄養価の高いデントコーンの作付けが減少しているため、今後は経営的な面も含めて指導することで飼料増産につなげてほしい。		
那須塩原市	北和田飼料生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(イタリアンライグラス、デントコーン)	生産性向上	【飼料増産】飼料作付面積を1%以上増加	44.5ha	22.5ha	34.5ha	49.5ha	58.5ha	35.7%	飼料作付面積が11.2%(5ha)増加した	牧草播種機 1台 モアコンディショナー 1台 フォレージハーベスタ 1台 ローク ロップアタッチ 1台	8,809,500	2,936,000	0	0	5,873,500	H18.10.20	飼料・原油価格高騰の情勢下で、増頭に踏み切れない組合員が多く、計画どおりの作付面積の拡大ができなかった。	当該事業主体は、厳しい情勢の中、一時期作付面積が減少したが、平成20年度には計画時の面積から拡大をすることができている。しかし、目標面積には達していないため、今後も、計画的な飼料生産によりさらなる作付面積の拡大が望まれる。	

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

(都道府県名:栃木県)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	
							計画時 (平成17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他
那須塩原市	熊田飼料作物生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(イタリアンライグラス、デントコーン)	生産性向上	【飼料増産】飼料作付面積を1%以上増加	16.1ha	19.85ha	21.35ha	21.66ha	21.2ha	109.0%	飼料作付面積が34.5%(5.56ha)増加した	細断型ローラー1台 ラップマシン 1台 堆肥散布機 1台	6,617,000	2,939,000	0	0	3,678,000	H18.10.11	機械の導入により、作業が効率よく行えるようになり、飼料作物の作付面積は目標値を超えるものとなった。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる。
那須町	柏台畜産環境保全組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(イタリアンライグラス、永年牧草)	生産性向上	【飼料増産】飼料作付面積を1%以上増加	35.5ha	35.5ha	43.0ha	45.4ha	41.5ha	165.0%	飼料作付面積が27.9%(9.9ha)増加した	ローラー1台 ラップマシン 1台 追播種機 1台	8,300,000	2,533,000	0	0	5,767,000	H18.10.5	事業による機械導入後、収穫適期に効率的な作業が行えるようになった。 また、農地の利用集積を推進し、自給飼料の増産について計画的に進めた結果、当初計画以上の作付面積の拡大を行うことができた。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる。
那須町	田中機械利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(イタリアンライグラス、稲わら)	生産性向上	【飼料増産】飼料作付面積を1%以上増加	11.53ha	11.53ha	11.73ha	15.51ha	17.32ha	68.7%	飼料作付面積が34.5%(3.98ha)増加した	ローラー1台 ラッピングマシン1台 飼料運搬機 1台	4,746,000	1,582,000	0	0	3,164,000	H18.11.17	事業による機械導入後、収穫適期に効率的な作業が行えるようになった。 また、農地の利用集積を推進し、自給飼料の増産について計画的に進めた結果、目標値には届かなかったが、年々作付面積を拡大することができた。	当該事業主体は、目標には達していないものの受益面積が増加していることは評価できる。今後も計画的な取組により、さらなる飼料増産が期待される。

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

（都道府県名：栃木県）

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 (対象作物・畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価
							計画時 (平成17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
鹿沼市	油田酪農機械利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物（イタライグラス）	生産性向上	【飼料増産】 飼料作付面積を1%以上増加	33.0ha	33.0ha	35.0ha	39.0ha	38.0ha	120.0%	飼料作付面積が18.2% (6ha)増加した	ラッピング グマシン 1台	2,131,500	710,000	0	0	1,421,500	H19.2.9	機械の導入により、効率的な飼料生産が可能となり、作付面積の拡大を図ることができた。 また、農地の利用集積を推進し、自給飼料の増産について計画的に進めた結果、当初計画以上の作付面積の拡大を行うことができた。	当該事業主体は、計画どおりに目標が達成されたものと認められる。

事業実施主体等取組評価報告書(経営力の強化を目的とした整備事業)

都道府県名		栃木県		報告年度		平成20年度										
事業実施年度	市町村名	地区名	整備事業の取組内容	成果目標	目標値		事業実施後の状況			達成率	事業費 (千円)	負担区分(千円)				点検結果及び講じようとする措置又は点検評価及び講じようとする指導
					計画時	目標年	1年度目	2年度目	3年度目			交付金	都道府県費	市町村費	その他	
H18	宇都宮市	城山地区農産加工会	アグリチャレンジャー支援	所得の向上(人)	—	—	—	—	—	—	26,953.5	13,000	0	2,000	11,653.5	—
				農畜産物等の売上額に増加(千円)	0	14,200	0	5,039	5,645	39.8						引き続き目標の達成に向けて取り組む
				雇用の拡大(人)	0	6	0	2	6	100.0						目標達成
H18	さくら市	さくら市氏家地区農産物直売組合	アグリチャレンジャー支援	所得の向上(人)	—	—	—	—	—	—	76,219.5	38,000	0	38,219.5	0	—
				農畜産物等の売上額に増加(千円)	0	50,000	0	70,096	79,777	159.6						目標達成
				雇用の拡大(人)	0	941	0	1,140	1,096	116.5						目標達成
H18	栃木県	—	農業研修教育・確保緊急整備支援センター施設整備	農業研修教育施設卒業生の新規就農率の向上	31%	40%	16.3%	44.4%	33.8%	31.1	51,387	25,693	25,694	0	0	農業大学校教育の充実とともに、就農コーディネーター等の設置など就農支援体制を強化する
H19	小山市	下国府塚	集落営農育成・確保緊急整備支援	品目横断的経営安定対策への加入	1	1	1	1		100.0	10,800	4,966	0	841	4,993	目標が計画通り達成されたことにより、特になし
				集落営農組織への農用地の利用集積(ha)	77.3	85	70.9	74.4		-37.7						集落営農組合からも戸の脱退があったが、その後、徐々に集積面積を拡大しつつある。今後も、地区内の利用集積を推進すべく指導していく。

目標年度	第三者機関の開催年月日	事業実施主体	整備施設等
第三者機関によって審議した内容及び意見(未開催の理由)			県が事業実施主体に対して指導した内容